

---

# 無題その二

下等

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

無題その二

### 【コード】

N5907Q

### 【作者名】

下等

### 【あらすじ】

南無妙法蓮華経南無妙法蓮華経南無妙法蓮華経南無妙法蓮華経

暗闇だった。「ああここはどこだろう。僕は一体誰なんだろう。右耳のパルスは相変わらずのようだが」

雄蝶はふと我に帰り周囲を見回したのだが季節はまさに真冬。凍えて死んでしまう虫達の中にあつて、この雄蝶はかろうじて冬越えを果たしたのだろうか。

「僕は生き延びたのか、それとも死んでしまったのだろうか」心の中で自問する蝶。そして厳しい寒さの中孤独に耐えたその雄蝶は半ば無駄だと知りつつも再び心の中に美しい音色をかき鳴らすのである。それだけでこの雄蝶は生き長らえて来たのである。多少さびついてはいたものの、相変わらずの美しき音色であつたが、その蝶に他意はなかつた。遠くで聴いているであろう雌蝶が居ようなどとは一切考えずただ寂しさまぎらわすためにまさに一点突破とばかりの鳴き声であつた。しかし未だ寒さが続き春は遠からじとはいえその雄蝶の放つパルスも弱々しきものだった。

「復活の狼煙か」

「相変わらずだな」

「奴も生き延びたか」などさまざまなパルスが届くが好みの声ではなかつた。そこへ「あんたのせいだよ」といきなり大音量で届くパルスが来た。

「はあ、僕のせいって一体」それはその雄蝶に恨みを抱くいくらかの数の雌蝶の声の糾合せし声のようだった。しかし出所不明ゆえそれ以上のパルスの交換は不可能でもあつた。一瞬驚いた雄蝶だったが慣れ親しんだ道だとも思ったか無視を決め込むのである。

「ああ、僕の思い蝶はこの冬を無事越えただろうか。それさえわかれば……」

春の到来を待つ他なし。そしてその雄蝶も鳴き続けるより他なかつたのである。そうして幾ばくかの時が過ぎた。その間雄蝶は大木の

裂け目にできた室でぬくぬくと暮らしていた。風よけにも日よけにもなりちよつと上に登れば樹液が吸えるのでまさに一切やる気をなくした雄蝶にはピッタリの環境だったのである。

誰にも邪魔されず徐々にパルスさえ送るのを忘れつつあった雄蝶は、ある日一羽の弱りきった老いた雄蝶に出会うのである。その老蝶もまた大木の室を目指して遠方よりはるばるやって来たという。その老蝶は樹液を吸い一息入れると雄蝶の存在に気づき、気さくに語りかけるのである。ちよつと話しをしただけで癒された雄蝶はその老と友人関係を築くのである。

飛べなくなっていた雄蝶にとりその老がひらひらと周囲を羽ばたいてみせるのを見て正直うらやましく思ったのは事実。そしてご老の幅広い交遊関係を知り、とても敵わないとも思った。そんな雄蝶を心配してそのご老は話した。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5907q/>

---

無題その二

2011年11月13日19時08分発行